

# 小金井都市計画道路3・4・11号線外に関する説明会

## 議事録

開催日時：平成30年3月25日（日曜日）14：00～15：45

開催場所：小金井市立南小学校 体育館

出席者：東京都建設局道路建設部計画課 2名  
東京都北多摩南部建設事務所工事第一課 4名  
小金井市（オブザーバー） 2名  
府中市（オブザーバー） 2名

参加者：231名

### <議事録>

発言者	発言内容
	<14：00 開会>
大坪統括課長代理 （司会）	<p>皆さん、こんにちは。お時間となりました。ただいまより「小金井都市計画道路3・4・11号線及び府中都市計画道路3・4・16号線に関する説明会」を開催いたします。</p> <p>私は本日の進行を務めます、東京都北多摩南部建設事務所工事第一課の大坪と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>初めに、本日の会の運営について御説明申し上げます。会の進行につきましては、皆様方正面左手にございます次第に従いまして進めてまいります。説明者の紹介、主催者の挨拶、概要説明及び情報提供、その後、皆様から御意見、御質問を頂戴したいと思います。</p> <p>終了予定時刻でございますが、おおむね3時30分ごろを予定してございます。どうぞ皆様の御協力をよろしくお願いいたします。（不規則発言あり）</p> <p>申し訳ありません、説明が終わりましたら皆様の発言の時間を御用意してございます。そちらでよろしくお願いいたします。（不規則発言あり）申し訳ございません、会を進行させていただきます。（不規則発言あり）お静かによろしくお願いいたします。きちんと皆様方の御発言の時間をきちんと御用意させていただいてございます。進行に従いまして御協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
参加者	2回も意見交換会につき合わされて、こっちは時間を潰してやっているのにさ。意見ぐらい聞きなよ。
参加者	式次第がおかしいと思います。

発言者	発言内容
大坪統括課長代理 (司会)	お静かにお願いいたします。
参加者	住民が発言したがつているんだから、ちゃんと発言させろよ。
大坪統括課長代理 (司会)	お静かにお願いをいたします。
参加者	何でだよ。言わせればいいじゃないか。何で聞かないんだよ。
大坪統括課長代理 (司会)	進行に御協力をお願いいたします。きちんと皆様方の御発言の時間を御用意してございます。そちらでよろしくお願いいたします。
参加者	今日の会がどういう会なのか先に説明してください。
参加者	黙れって言うのかよ。
大坪統括課長代理 (司会)	そのように申しているのではありません。きちんと説明をした上で御発言の時間を御用意していると申し上げます。御協力をよろしくお願いいたします。
参加者	概要説明は聞けません。道路事業ありきの説明は私たち聞けません。
大坪統括課長代理 (司会)	<p>お静かにお願いをいたします。聞きに来られている方もおられます。きちんと説明をお聞きした上で、皆様方の発言をお受けしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>会場について注意事項でございます。会場内並びに校舎内は全て禁煙とさせていただきます。それから、携帯電話をお持ちの方につきましては、マナーモードに設定をしていただき、通話は御遠慮いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>また、地震など非常の際には、係員の誘導に従いまして落ち着いて行動いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、この説明会の記録を残すために録音や撮影をさせていただきます。あらかじめ御了承のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の配付資料について御確認をさせていただきます。皆様方には受付で封筒をお渡ししてございます。封筒の中に本日の説明スライドを印刷したホチキスどめのもの「小金井3・4・11号線外に関する説明会」と書かれた資料。もう一つがA3、2つ折りのリーフレット「小金井3・4・11号線外に関する説明会資料」と書かれたものでございます。</p> <p>以上、2点、御不足等ございましたら、お近くの係員にお申しつけくださいますよう</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>お願いをいたします。</p> <p>それでは、初めに説明者を御紹介いたします。</p> <p>東京都建設局道路建設部計画課事業化調整専門課長、徳差でございます。</p> <p>同じく計画課多摩計画担当課長代理、今泉でございます。</p> <p>東京都北多摩南部建設事務所工事第一課長、梅津でございます。</p> <p>同じく工事第一課設計総括担当課長代理、深津でございます。</p> <p>同じく環境対策担当課長代理、中島でございます。</p> <p>本日、オブザーバーといたしまして、小金井市役所並びに府中市役所の職員にも御出席をいただいております。どうぞよろしくをお願いをいたします。</p> <p>それでは、主催者の挨拶並びに概要説明、情報提供にまいります。道路建設部計画課事業化調整専門課長の徳差より一言、御挨拶申し上げます。</p> <p>事業化調整専門課長の徳差でございます。</p> <p>本日は年度末のお忙しい中、説明会に御出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>本日は小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線外の概要説明とともに、別途行っております意見交換会の内容について、情報の提供をさせていただきたいと考えています。</p> <p>今日御出席いただいている皆様から、環境や景観にどのように配慮すべきかなどについて、多くの御意見を伺いたいと考えてございます。</p> <p>御質問の時間は最後に多く設けておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>つきましては、まず説明スライドを用意してございますので、ご覧いただきたいと考えております。上映時間は20分ほどですので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜スライド上映＞</p> <p>(説明スライドP1)</p> <p>これから、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線の概要説明並びに別途開催している意見交換会の内容について情報提供させていただきます。前面のスクリーンとあわせてお手元にある配付資料をご覧ください。</p> <p>(説明スライドP2)</p> <p>まず最初に、本日の説明ですが、初めに小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線の概要について御説明し、その後、意見交換会の目的及び本日の説明会の目的、意見交換会の状況の順に御説明します。</p> <p>(説明スライドP3)</p> <p>まずは小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線の概要について御説明します。</p> <p>(説明スライドP4)</p> <p>初めに、都市計画道路は、都市を形成する最も基本的なインフラであり、自動車交通の円滑化や防災性の向上などの観点から重要な都市基盤です。東京都では、都市計画道</p>

発言者	発言内容
	<p>路について過去3回にわたり事業化計画を策定し、計画的、効率的に都市計画道路の整備を推進してきました。そして、平成28年3月、東京都と特別区及び26市2町が共働して道路の必要性を検証した上で、平成28年度から平成37年度までの10年間で優先的に整備すべき路線を選定しました。そして、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線の未着手の区間を新たに優先整備路線に選定しました。</p> <p>(説明スライドP5)</p> <p>こちらは小金井市周辺の主要な道路のネットワークを示したものです。東西方向に上から、広域的な幹線道路である五日市街道、東八道路、甲州街道が通っており、南北方向では左から、府中所沢線、小金井街道、新小金井街道、天文台通りがあります。そして、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線からなる府中東小金井線は、南側の甲州街道を起点として北側の五日市街道に至る延長およそ5キロメートルの都市計画道路です。青色で示しているのが整備済み区間であり、オレンジ色で示しているのが事業中の区間です。本日説明させていただく区間は、赤色で示した延長およそ830メートルの区間で、既存の道路がない未整備区間となっています。</p> <p>(説明スライドP6)</p> <p>次に、地域の現状と課題について御説明します。</p> <p>(説明スライドP7)</p> <p>初めに、周辺の交通渋滞の状況です。先にお示したように、南北の道路として東の天文台通りと西の小金井街道がありますが、その2つの道路は武蔵野公園、多磨霊園、野川公園、国際基督教大学などの大規模敷地が集中しているエリアのため、およそ3.6キロメートルにわたり南北の幹線道路がない状況にあります。また、天文台通りと小金井街道は2車線、計画幅員16メートルの都市計画道路ですが、南北の道路ネットワークが十分でないことから渋滞が発生しやすい状況にあります。特に小金井街道や新小金井街道の主な渋滞箇所である前原坂上交差点や前原交番前交差点、小金井南中西交差点では、交通渋滞が発生しやすい状況となっています。</p> <p>(説明スライドP8)</p> <p>次に、生活道路への通過交通の進入についてです。周辺地域では、本路線が整備されていないことから、地域に用のない多くの通過交通が生活道路である市道573号線、通称二枚橋の坂へ進入しています。歩行者や自転車はおよそ4～5メートルの狭い道路を通過する車をかわしながら日常的に通り返している、とても危険な状況となっています。そのため、地元の小金井市では、連雀通りからの進入を制限するために、朝の通学時間帯及び午後から夕方までの時間に交通誘導員を配置するなど、交通安全対策を余儀なくされています。</p> <p>(説明スライドP9)</p> <p>次に、震災時の避難路の不足です。この周辺地区においては、武蔵野公園が広域避難場所に指定されていますが、周辺の住宅地から武蔵野公園へアクセスするためには、崖線をおりていく道を通行しなければいけません。そして、通行する道は幅員およそ4～6メートルで、極めて限定的であります。</p> <p>左の図の赤丸で囲ったところが公園へのアクセス道路となっていますが、車の通行が</p>

発言者	発言内容
	<p>できる道路は1カ所であり、幅員はおよそ4メートルとなっています。</p> <p>右上の図は阪神淡路大震災における道路幅員と道路閉鎖の関係を示したグラフです。阪神淡路大震災では幅員8メートル未満の道路のほとんどで車両の通行が不能になり、幅員6メートル未満の道路の6割以上で歩行者の通行も不能になったのに対し、幅員8メートル以上の道路では歩行者だけではなく車両の通行も確保されておりました。ちなみに、阪神淡路大震災では幅員12メートル以上の道路で延焼が防止されました。このため、今後30年以内に南関東で直下型の大規模地震の発生する確率が70%とされている中、本路線の整備による地域の防災性向上が求められています。</p> <p>(説明スライドP10)</p> <p>また、地域の北側には小金井公園がありますが、小金井公園は広域避難場所の指定のほか、多摩部では8カ所ある「大規模救出救助活動拠点候補地」に指定されています。いざ大規模災害が発生すると、全国から自衛隊、警察、消防、医療関係の救出救助部隊が駆けつけ、ベースキャンプなどの活動拠点になります。このため、広域避難場所となっている武蔵野公園や野川公園と、「大規模救出救助活動拠点候補地」に指定されている小金井公園とが道路で結ばれることで、地域の防災機能はより一層強化されることになります。</p> <p>(説明スライドP11)</p> <p>これまで説明してきた現状と課題より、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線の必要性をまとめると、1つ目が、南北方向の広域的な道路ネットワークの形成です。小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線は、現在、周辺地域一帯に不足している南北の道路ネットワークを補う極めて重要な道路です。</p> <p>2つ目が、周辺道路の渋滞緩和です。現在、小金井街道、新小金井街道において交通渋滞が発生しているため、それらの交通を分散し、渋滞緩和を図るためにとっても有効な路線です。</p> <p>3つ目が、生活道路の通過交通の抑制による良好な居住環境の確保です。現在、二枚橋の坂などでは通過交通の進入により歩行者や自転車が危険な状況であるため、本路線の整備により安全で安心できる良好な居住環境を確保していく必要があります。</p> <p>4つ目が、地域の防災性の向上です。広域避難場所への避難路を確保するとともに、「大規模救出救助活動拠点候補地」に指定されている小金井公園と武蔵野公園、野川公園が道路で結ばれることで、地域の防災性が向上します。</p> <p>(説明スライドP12)</p> <p>次に、本路線周辺地域の環境特性について御説明します。周辺地域は、写真にあるように国分寺崖線や野川、武蔵野公園など貴重な自然が色濃く残っている地域です。国分寺崖線、野川には多くの雑木林、緑地、湧水を初め、鳥や昆虫、魚、草花など貴重な自然が残されており、市民からも親しまれております。そのため、道路の整備にあたっては、それらの市街地に残された武蔵野の環境や景観に配慮することが非常に重要であります。</p> <p>(説明スライドP13)</p> <p>本スライドは、環境に配慮した取り組みとして、小金井3・4・11号線及び府中3・</p>

発言者	発言内容
	<p>4・16号線を橋梁構造とした場合の整備イメージ図です。左側の縦断イメージ図をご覧ください。これは本路線を東側から西側に見た図となっており、左側が武蔵野公園で、右側が連雀通りとなっております。国分寺崖線を橋梁構造により北側の連雀通りから南側の武蔵野公園へ、野川やはけの道を跨いで渡る縦断イメージ図です。</p> <p>右側の整備イメージ図をご覧ください。これは、はけの道から本路線を見た整備後のイメージパースです。現在、宅地化されている崖線部分を橋梁構造により崖線の緑を再生し、湧水の保全を図っていきたいと考えています。</p> <p>(説明スライドP14)</p> <p>また、本スライドは小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線について、西側から見た橋梁構造の全景イメージ図です。図はイメージであり、決まったものではありませんが、今後、環境に配慮した構造となるよう、橋脚の位置や橋脚数などについても検討していきたいと考えています。</p> <p>(説明スライドP15)</p> <p>本スライドは、橋梁構造により崖線を保全した事例です。オレンジ色で囲った部分が青柳崖線という崖線となっておりますが、交差する道路を橋梁構造とすることで崖線と湧水の保全が図られています。</p> <p>(説明スライドP16)</p> <p>続いて、意見交換会の目的及び本日の説明会の目的について御説明します。</p> <p>(説明スライドP17)</p> <p>先ほど御説明したように、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線は、安全性や防災性向上に資する重要な路線と考えておりますが、国分寺崖線などの周辺地域の環境に配慮することも重要と考えております。そのため、東京都は本路線の整備にあたり、環境や景観への配慮などについて市内にお住まいの皆様のご意見を伺い、検討を進めたいと考え、意見交換会を開催させていただきました。</p> <p>この意見交換会は、右側の図の青色の箱で囲まれた、通常、事業段階で実施している事業概要の説明会や地権者様への用地説明会とは異なり、そのもっと前の赤線で囲まれた段階において、市内にお住いの皆様からの御意見を伺うために開催しているものです。頂いた御意見、御要望は、今後行う環境調査の項目選定、道路の構造形式の選定などの参考とさせていただく予定です。</p> <p>(説明スライドP18)</p> <p>ただいま御説明した意見交換会は、小金井3・4・11号線の沿道の町会代表の方7名と、公募の市民の方43名の合計50名と東京都で構成しており、これまでに平成29年11月17日と平成30年1月26日に開催しております。</p> <p>(説明スライドP19)</p> <p>しかし、意見交換会は開催しておりますが、参加者から多くの御意見をいただき、東京都の用意した資料の説明及び整備にあたっての意見交換は実施できておりません。本日の説明会は、そのような状況も含めて情報提供させていただくとともに、本路線の整備にあたり環境や景観への配慮などについて、本日、参加いただいた皆様と意見交換をするために開催させていただきました。</p>

発言者	発言内容
	<p>(説明スライドP20)</p> <p>続いて、意見交換会の状況について御説明します。</p> <p>(説明スライドP21)</p> <p>第1回意見交換会は、平成29年11月17日金曜日に、小金井市市民会館「萌え木ホール」にて開催させていただきました。東京都としては小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線を整備するにあたり、どのように環境や景観に配慮するかについて、市民の皆様と意見交換をするために開催させていただきました。しかし、参加した多くの方から「事業ありきの意見交換会はおかしい」「計画の見直しという選択肢を含めて会を開催すべき」「都市計画道路の見直し権限のある都市整備局を出席させるべき」などの御意見をいただきました。そのため、東京都は、「見直しや廃止も含め、都市整備局も出席し議論すべき」などの意見について持ち帰ることになりました。</p> <p>(説明スライドP22)</p> <p>第2回の意見交換会は、平成30年1月26日金曜日に、前回同様、小金井市市民会館「萌え木ホール」にて開催させていただきました。そこでは見直しや廃止も含め、都市整備局も出席し議論すべきなどの前回いただいた意見に対して、東京都としては、「本路線は安全性や防災性向上に資する重要な道路であり、整備の必要性があることから優先整備路線から除外することや、都市計画を廃止することは考えていない」こと、「そのため、意見交換会は建設局主催で開催させていただく」ことなどの見解を説明させていただきました。</p> <p>しかし、見解について参加者に納得していただかず、「東京都は見直しも含めて議論すべきという市民や市議会の総意をなぜ無視するのか」「見直しの権限のある都市整備局が出席しないと意見交換会にならない」「必要性について議論できる場を設けるべき」との参加者の繰り返しの意見への対応に終始し、東京都の用意した資料の説明及び整備にあたっての意見交換は実施できませんでした。</p> <p>(説明スライドP23)</p> <p>次に、ここではこれまで開催してきた意見交換会において参加者から出された主な意見と、それに対する東京都の見解について情報提供させていただきます。</p> <p>1点目が、計画の見直しを含めて意見交換できる場とし、建設局だけではなく都市計画道路の見直し権限のある都市整備局を出席させるべきとの御意見です。東京都としては、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線は、安全性や防災性向上に資する重要な道路であることから、優先整備路線から除外することや都市計画を廃止することは考えておりません。そのため、事業者として意見交換会は建設局主催で開催させていただき、本路線の必要性も含めて御説明し、皆様の御理解と御協力をいただけるよう努めてまいります。</p> <p>(説明スライドP24)</p> <p>2点目が、道路の建設と自然の保全の両立はあり得ない。道路をつくらないで課題を解決できる方法を考える意見交換会とするべきとの御意見です。東京都としては、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線は、安全性や防災性向上に資する重要な道路であると考えていますが、国分寺崖線などの周辺地域の環境に配慮することも重要</p>

発言者	発言内容
大坪統括課長代理 (司会)	<p>と考えております。そのため、本路線の整備にあたっては、橋梁構造により宅地化されている崖線部分を緑地に再生するなどの取り組みをはじめ、環境や景観への配慮などについて市内にお住いの皆様の御意見を伺い、検討を進めたいと考えております。</p> <p>(説明スライドP25)</p> <p>3点目が、納得のいく説明がないのに、長い間暮らし、守ってきた土地を立ち退くことはできないとの御意見です。本事業を進めるためには、地権者様の土地をお譲りいただいたり、建物などを事業区域外へ移転していただかなければなりません。そのため、大変な御迷惑をおかけしますが、道路事業の必要性を御理解いただき、御協力を得られるよう努めてまいります。</p> <p>(説明スライドP26)</p> <p>4点目が、生活道路である二枚橋の坂の通過交通に長い間、苦しんできた。道路整備に賛成であるとの御意見です。東京都としては、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線は、生活道路への通過交通抑制による地域の安全性向上などに資する重要な道路であると考えておりますが、国分寺崖線などの周辺地域の環境に配慮することも重要と考えております。そのため、本路線の整備にあたっては、環境や景観への配慮などについて、市内にお住いの皆様の御意見を伺い、検討を進めたいと考えております。</p> <p>(説明スライドP27)</p> <p>以上で、小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線の概要説明並びに別途開催している意見交換会の内容についての情報提供を終了いたします。</p> <p>東京都は、本路線に関して環境や景観にどのように配慮して進めていくのかについて、ぜひ本日御参加いただいた皆様の御意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
	<p style="text-align: center;">&lt;14:33 質疑応答開始&gt;</p> <p>それでは、これより御意見、御質問を頂戴したいと思います、初めに何点かお願いがございます。</p> <p>終了予定時刻につきましては、冒頭申し上げましたとおり、おおむね3時30分ごろを予定してございます。限られた時間ではございますが、できるだけ多くの方の御意見、御質問等を頂戴したいと思っております。</p> <p>発言の際は、要点を取りまとめ簡潔に、また、複数の質問などございましたら、まとめてお願いしたいと思います。</p> <p>発言される方は挙手をお願いいたします。私のほうで御指名をいたします。マイクをお持ちいたしますので、初めに例えば「東町5丁目の大坪です」など、差しさわりのない範囲で結構でございます。おところ、お名前を頂戴いただければ幸いです。</p> <p>それでは、発言のある方は挙手をお願いいたします。では、こちらの男性の方。</p> <p>参加者A</p> <p>東町の(参加者)といいます。</p> <p>概要の説明と意見交換会の説明、2点されましたけれども、最初に意見交換会と説明</p>



発言者	発言内容
	<p>会についての案内がホームページに出されていました。その内容によると、今日の説明会というのは先ほどこれまで行われた説明とは異なる目的、内容になっています。この今日の説明会について、このように書いているのです。「意見交換会の内容を広く情報提供するとともに、参加いただいた方と意見交換を行う予定です。」意見交換会の内容を情報提供するのが今日の説明会の目的であり、内容だと書かれているのですけれども、そうではなくて事業内容について説明されて、つけ足しのように意見交換会について説明されました。</p> <p>こういうやり方というのは、最初こういうことで公に、今もホームページに残っていますけれども、されている内容と違うようなやり方というのはおかしいではないか。こういうことを建設局の方は、これまで一貫してやられたのではないかと思います。意見交換会もいろいろありましたが、あんなふうな一言、二言で終わるような内容ではないですよ。</p> <p>そもそもこの3・4・1と3・4・11について決定されたときに、事前に市民に意見を聞いたのは、ただ1回のパブリックコメントです。パブリックコメントで2,000件を超える市民の方から意見を出されて、96%が事業については見直しあるいは廃止。賛成というのはほんのわずか。そういう住民、市民の方からこれだけおかしいよという意見が出されたのに、全く耳を貸さない。しかも直前に市議会は見直しの意見を圧倒的多数で採択して、東京都に意見書を出されているのです。こういうことをやって、こういうことではおかしいのではないか。やり方がおかしいのではないか。市民の意見を聞かないで進めることがおかしいのではないかとということで、縷々意見も出されて、そういう議論をされたということをきちんと説明しないで幾つかの都合のいい説明だけで、それで説明を行いました。</p> <p>もう一つ言えば、小池知事は都知事選に立候補したときに、ここの市民団体の方からの質問に対して、必要ならば現地に来ます。住民から疑義を出されているところについては来ます。小金井についても必要なら来ますと言っているのですけれども、一向に来ない。これは西岡市長も小池都知事に面談した際に求めているのです。市長の言うことに對しても、市議会の意思に對しても、市民の意思に對しても、これまで一貫して無視してこういう説明をするというのは、そもそもおかしいのではないですか。その点についてどのように考えているのか。</p> <p>事業の概要の説明をするというのが今日の目的だというのは、一番最初の参加者募集のときに書いていないのです。どこでそういうものが潜り込むようになったのか。意見交換会の内容について説明して、それについて意見交換を行うと書いてあるのです。ちょっと目的が違うし、やり方自体も途中ですりかえるという、こういうやり方はやめたいと思います。</p> <p>道路ができるとう便利になると言っていますけれども、小金井の市議会でも議論になりましたが、道路の拡幅ではなくて、全く道路の無いところに道路をつくと、小金井ではこれまでできたところで何年かかっているのですか。18年かかっても道路ができていない。もし建設に着工したとしても、事業認可したとしても、できあがるのが40～50年後です。30年たってできないのです。この3・4・11号線というのは。全然</p>

発言者	発言内容
	<p>便利にならないのです。既存の道路の解決なんて都合のいいことを言っていますけれども、そんなのできるのははるか先の話。半世紀後に道路が完成するようなどときには、もう自動車がこんなに必要ない。そういうことも踏まえて皆さん意見を出しているので、そういうことを無視して都合のいいことだけ説明するのはやめていただきたいと思います。</p> <p>とりあえず、中身が書きかえられた、すりかえられたということについて説明していただきたい。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>説明会の目的についてということでございます。</p>
徳差専門課長	<p>今、スライドで出ていますけれども、先ほど御説明したとおり、本日の説明会ですけれども、2回行いました意見交換会の状況も含めて情報提供させていただいて、環境や景観の配慮などについて本日、御参加いただいた皆様から意見を聞くというのが目的でございます。</p> <p>先ほど(参加者)様から御指摘がございましたけれども、この事前の参加案内、説明会のお知らせということでございますが、確かにここには意見交換会の内容を広く情報提供するとともに、小金井3・4・11号線ほかの概要説明と、参加いただいた方との意見交換会を行う説明会と書かせていただいております。まず小金井3・4・11号線ほかを知らない方もいると思いますので、まず3・4・11号線の概要は当然説明させていただいた上で、2回の意見交換会の情報提供もさせていただいて、それでなおかつ集まった皆様と意見交換会をするという目的で、この開催通知をさせていただいているのですけれども、よろしいですか。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>それでは、次の方、まいります。</p> <p>前列一番左手の方、お願いいたします。</p>
参加者B	<p>(参加者)といたします。</p> <p>19ページで2つ聞きたいことと、東京都が今後どうしようとしているかということについて、わかりやすくはっきり、イエス・ノー的に答えてください。</p> <p>まず、今、回答された課長さんは、事実はちゃんと認められる方だと思って私も意見交換会を傍聴しましたがけれども、正直な方だと思って信頼しています。ただし、東京都はホームページで意見交換できなかつたにもかかわらず、意見交換会をやりましたと、できていないものをできたと間違った報道をずっと続けている。これはおかしいと思います。できなかつたのならできなかつたと、東京都はやろうとしたけれども、意見交換はできなかつたと、きちんとそういう事実を公表してください。都政における市民の信頼を裏切るような間違った報道はやめてもらいたい。それをまず要求します。</p> <p>もう一つ、最初の挨拶でも述べられましたし、スライドの最後でも言われましたけれども、今日皆さんから聞く意見は環境や景観への配慮、これしか聞かないんだと。整備</p>

発言者	発言内容
	<p>にあたってどうしてほしいかということしか我々は聞きませんと。それだったらそのようにはっきり言ってくださいよ。でも今日は最初、課長さんもおっしゃいましたけれども、3・4・11号線はどういう道路なのかわからない方もいるとおっしゃいましたよね。ですからつくってほしいと思う方もいるかもしれません。でも、どちらかわからないという方もいるかもしれません。つくってほしくないと思っている方もいるかもしれません。そうしたら、それら全ての意見をちゃんと聞くべきではないですか。最初の話だと、どちらかというつくってほしい、つくるにあたってこうしてほしいという意見しか聞かないということになっているではないですか。それはおかしいと思います。この2つについて回答してください。</p> <p>最初に発言された方も、こういう間違った発表を東京都が続けているから、概要説明して意見交換できなかったみたいなの、そういうやり方そのものがおかしいと最初に発言した方も言いたかったのではなはいかと思ひます。はっきり答えてください。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>以上、2点でございます。</p>
徳差専門課長	<p>1点目の御質問に対してですけれども、意見交換会にはならなかったとの意見については、そこは私どももそのとおりだと。つまり、私どもが目的としている意見交換は、できなかったなと認識しております。</p> <p>発表については、意見交換会にはならなかったということの意見については、都としては意見交換は開催させていただきました。これは事実ですので、資料も配付しましたが、用意した資料の説明及び整備にあたっての意見交換会は実施できないと考えておひまして、それは今、言ったとおりなのです。そのためにホームページには当日の配付資料のみ掲載させていただいております。</p> <p>また、配付さへしなかつたという御意見なども実はいただひているのですけれども、ホームページには、今日ホームページの映像はござひませんが、例えばスライド8ページまではスライドと口頭で説明、以降は参加者の意見を踏まえて主に口頭で説明というようなただし書きも記載させて、資料についてはホームページにアップさせていただいております。</p> <p>議事録についても、少しタイムラグが生じますけれども、しっかりと載せさせていただいております。そのため、現時点で御指摘の修正するという予定はござひませんし、この状態で問題ないのではないかと考えております。</p> <p>意見交換会の目的がここに書かれておひるようひ、今日の説明会も含めてなのですけれども、整備にあたってですね、3・4・11号線外の整備にあたって環境や景観への配慮について意見交換会をする目的ということで、意見交換会の参加者も募集させていただきましたし、実は今日の説明会もそういう目的であるわけなのですけれども、したがひまして、東京都としては環境に、いわゆるつくり方の世界になってくると思うのですが、そこでどうひうふうひ環境に配慮すべきか、そういうった御意見とか情報提供をいただければというところではありますけれども、さまざまな御意見がありますので、そこ</p>

発言者	発言内容
大坪統括課長代理 (司会)	<p>は意見を言っていたく分には全く構わないと考えております。</p> <p>それでは、次へまいります。そちらの黄色いセーターを着ている男性の方。</p>
参加者C	<p>東町5丁目の(参加者)と申します。</p> <p>この道路ができると、もしかしたら私のところもかかりますので非常に興味があつて見えています。粉じんとか騒音とかに相当悩まされるなと思っています。必要であれば認めますけれども、必要性は全く感じません。全く感じません。</p> <p>今、意見交換がなかなか成立しなかったという議題になっていますけれども、なぜ意見交換がかみ合わなかったのか。それはもとのところが違うのです。我々は何で必要か、そこが疑問に思っているわけです。そちらは道路をつくるありきで来ているわけです。何でそんな議論でかみ合うことがあるわけですか。かみ合うわけがありません。大体、もしかしたら我々の財産が召し上げられるというときに、ただ必要だからつくります。誰が決めたんですか。東京都が自分が決めたから、おまえら下々は従えというスタンスでうまくいくと思っているのですか。思っているからああいう説明会になるのです。誰が決めたのですか。質問は、誰が決めたか後できっちり言ってください。誰が、どのような形で、どういうふうを決めたか。これが第1の質問。</p> <p>第2点の質問は、必要性のところでは先ほどから交通渋滞云々とかおっしゃっていますけれども、どこがどのくらい混んでいるのですか。交通センサスを私は調べましたが、全然混んでいるところはありません。数値を出して言ってください。どこが混んでいるのですか。</p> <p>3番目、大規模災害のときに道路云々言っていますけれども、どういうときに、どんなときに、その新しい道路をつくるのか言ってください。それははっきり言ってください。実際に例えば私は東町に住んでいますが、東町の一時避難場所はどこか御存じですか。これ言ってください。この3点をとりあえず言っていただいて、そこら辺のところからスタートして議論をしないと進まないと思います。そこら辺について意見を聞きながら変える。まずこの意見交換のスタートは、みんなの意見を聞いて必要ないと思ったら廃止するというを前提に進めないと、議論はかみ合わないと思います。よろしくをお願いします。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>以上、3点でございます。</p>
徳差専門課長	<p>まず1点目の誰が決めたかということですがけれども、道路計画を誰が決めたかという御趣旨でしょうか。</p>
参加者C	<p>何年前に誰が決めたか教えてください。</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	都市計画決定については、昭和37年7月に決定されてございます。
参加者C	証拠を見せてください。言葉だけではなくて、具体的に誰々がこういう形で決定しましたというのを見せてください。明日持ってきてください。
参加者	ほかの人が調べて先に進めたらどうですか。貴重な時間なので。
徳差専門課長	決定については、国が告示をしておりますので、そういうところになるわけなのですから。
参加者C	決定文書のことを言っているのですか。
参加者	都計審で決めたのだから、議事録を明日持ってくればいいんだよ。
徳差専門課長	当初決定の官報告示はございますので、そこで適切に判断されていると私どもは考えております。
今泉課長代理	少し補足させていただきます。昭和37年7月26日の官報でございます。これが当初決定、都市計画決定でございます、
参加者C	聞いているのは、その前の文書です。
今泉課長代理	それは国が決定機関ですので、国の文書ということでしょうか。
参加者C	そうです。
今泉課長代理	それについては我々は持ち合わせておりません。
参加者	えーっ。おかしくないですか。
参加者C	ないのですか。決定されていないのですか。
参加者	どういうことですか。
梅津課長	2点目の渋滞について御説明をさせていただきます。スライドの38ページ（補助説明スライドP38）をご覧ください。
参加者	ごまかさないで。すごく大事なことだと思います。

発言者	発言内容
参加者	意見交換会でしょう。交換じゃないではないですか。
参加者	そうだ、そうだ。
梅津課長	こちら平均旅行速度ということで、幹線道路の平均旅行速度を示した図でございます。
参加者	勝手に話を進めるなよ。ごまかすなってみんな言っているだろ。
大坪統括課長代理 (司会)	お静かにお願いいたします。
参加者	質問にきっちり答えてください。
参加者	黙らせればいいのかと思ってさ。
参加者	ちゃんと質問に答えてから次の質問に行ってください。
参加者	おかしいじゃないか。そもそものところがはっきりしないと全く意味がないじゃないか。
参加者	今、決裁文書って大事だからね。
参加者	そうですよ。決裁文書を見せてください。
今泉課長代理	<p>先ほど私から官報の告示年月日を申し上げましたが、これが当初の都市計画法の旧法とよく言われている都市計画法でございまして、これについては今の国土交通省、当時の建設省で決定されていると認識しております。その文書については、決正文書というのは国のほうで保存していると思いますけれども、そこについては今、手持ちでは持っておりません。</p> <p>以上が御回答になります。</p>
参加者C	では次回、明日でも持ってきてください。
参加者	国から取り寄せればいいのかではないですか。
参加者	見なかったらあなたたちも心配じゃないの。本当にあるのかどうか。
参加者	それをもとに立ち退きさせるのではないですか。

発言者	発言内容
参加者C	では、今、持ってこられないのだったら、あると思いますので、明日でも、次の意見交換会のときにでも持ってきてください。それでその話は終わりにしましょう。よろしいですね。何で答えないのですか。あるのなら持ってきてください。それだけの話ですよ。
参加者B	本当にそこに線が引かれているかどうかわからないじゃないか。
参加者C	何で黙るんですか。ないんですか。
徳差専門課長	当時の旧法で国が決定したもので告示しておりますので、適切に処理されたものと私どもは考えております。
参加者C	だからそれは誰が決めたのか。我々は決裁文書を出してくださいとお願いしているのですから、我々が納得するような説明資料を出してくださいよ。
参加者	そうですよ。
参加者C	それはあたり前です。言葉だけで決まったって、どこかと一緒ですよ。だめですよそれじゃ。話にならないですよ。だから次回でも明日でもいい。次の意見交換会でも構いませんから、出してくださいと申し上げているのです。今は無理だとわかっていますので。よろしいですか。返事がないね。
徳差専門課長	わかりました。可能な範囲でこちらでお調べいたしまして、明日というのは多分無理だと思いますけれども、意見交換会は次年度以降も継続したいと考えておりますので、その中で可能な限りお調べして、お示しできる箇所はお示ししたいと考えております。それでは、2点目からお願いします。
梅津課長	<p>2点目、平均旅行速度のスライド（補助説明スライドP38）が今、出ておりますけれども、周辺の幹線道路の平均旅行速度を示したものでございます。小金井街道、新小金井街道、連雀通りで渋滞を示すオレンジ色と赤色の表示、こちら凡例にも書かせていただいておりますけれども、平均旅行速度が10キロ未満であることが御確認いただけます。実際にはこの渋滞箇所を避けるために、二枚橋の坂など4～5メートルの生活道路に進入している車も多く、歩行者や自転車の通行にとっても危険となっております。ここは調査対象外のため、そういった生活道路等はこの図には無表示なのですが、実態としてそういうことで、今、市では交通誘導員を配置して安全対策などをさせていただいている状況にあります。</p> <p>連雀通りについては、緊急輸送道路にもなっているのですが、一部は都市計画の区間がなく幅員が狭い。歩道がないところもございまして。北側の東大通りから来た車が前原坂上交差点で小金井街道に入るため、交通量が多くなっているというのもこの</p>

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>図からおわかりいただけます。</p> <p>3点目の避難場所についてでございますけれども。</p> <p>災害でどんなときに東町、ちょっと何丁目とお伺いできなかったもので、そのときの一時避難場所ということでした。今、手持ちの資料で言いますと東町1丁目、2丁目、5丁目につきましては一時避難場所が第二中学校、さらに申し上げますと、広域避難場所が武蔵野公園ということは我々も把握しております。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>それでは、次の方にまいります。では、真ん中の女性の方。今、マイクをお持ちいたします。お待ちください。</p>
参加者D	<p>前原町に住んでいます(参加者)です。</p> <p>先ほどの方もおっしゃっていた必要性のところの④です。広域避難場所へのアクセシビリティ向上による地域の防災性強化ということで、先ほどの説明の中には阪神淡路大震災云々ということで、本当にたくさんの方が亡くなってもう20年ぐらいになりますかね。そういうことを分析したということと、この必然性、この縦ライン、この南北の道路があれば、地域の防災性が強化されるという必然性を精緻に数字で分析したものを教えてください。普通に防災と考えたらどうやって逃げようか。車なんか乗っている暇はない。あるいは車のない高齢化した社会で、しかも坂下、そういうところでどうやって身を守ろうか、どこに逃げようかというのは一番近いところに逃げるわけです。空き地を含めて。</p> <p>だから本当にこの道路って何年前でしたっけ。1962年、1963年、そのときにつくられた必然性を後づけで阪神淡路大震災云々というのは、余りにも震災を受けた方々に失礼だとは思いませんか。本当にやめてください。そういう恥ずかしいことをしないでください。東京都が主体的に住民の防災というふうに考えるのであれば、まず先ほどおっしゃった自分の家がかかるかもしれない。生活の拠点がなくなるかもしれない。それでもいいですよと言える根拠を数字も含めて論理的に全部説明する資料を開示してください。それからこの話は始まるのです。いいですか。私たちはここで生きているのです。本当に大震災だったら大変ですよ。でもね、そんな脅しには乗りませんよ。何が起きているんですか今この日本で。震災というより人災でしょう。本当に人が助け合わなければいけないんですよ。だったらいい仕事をしてくださいよ。</p> <p>なので、④の広域避難場所へのアクセシビリティ向上による地域の防災性強化という、これに見合うだけの資料を全部出してください。しかもそれを阪神淡路大震災ではないでしょう。これは50年以上前につくられた道路の計画でしょう。やめてくださいよ。ちゃんと住民が本当に住んで、ここがいいところだということで住んでいる。その人たちが納得できる、そういうような地域の防災性強化という数字をきちり示して、論理立てて説明する資料を持ってから再び説明会を開いてください。幾らだって付き合いますよ。お願いします。</p>



発言者	発言内容
大坪統括課長代理 (司会)	以上、1点でございます。
徳差専門課長	<p>おっしゃられたデータについては今、持ち合わせておりませんし、私どもが持ち合わせているのは、今まさにこの状況でございます、阪神の事例を例にとって防災性の向上を図る必要性はあると考えているわけでございます。</p> <p>この周辺、こちらの資料(説明スライドP9)に少し記載されているとおり、非常に細街路が多いということで、細い道の沿道の建物の状況にもよるのでしょうかけれども、例えば震災が起こったときに建物が倒壊することで避難経路が閉塞してしまう。そういった状況が当然起こり得るわけで、最悪の状況を踏まえたときに、沿道が倒壊してもきちんと避難空間が確保できるような都市計画道路というのは必要だと考えておりますし、また、避難路として使うだけではなくて救助救援活動の空間ともなりますし、最終的には物資輸送の道路ともなりますので、そういうことで、この道路の必要性があると私どもは判断してございます。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	それでは、次の方。では、一番奥のめがねの男性の方。
参加者E	<p>東町の(参加者)と申します。</p> <p>全く初歩的な質問で申しわけないのですが、道路渋滞と災害時の件で、まず五日市街道の交差点を基準、それから、東町4丁目、3・4・11の起点の場所、この交通量は当然既にデータとしてお持ちになっていると思うのです。例えば年間、月間、土日休日。逆にこれを整備した場合に予想される交通量、これがある程度数字に出てくれば比較ができるのです。ただ単につくるつくると言われても、具体的な数字が出てこないと判断のしようがないのですが、先ほどおっしゃった方と少しダブるのですが、この辺のデータというのは既にとられていると思うのですが、その辺いかがでしょうか。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	以上、1点でよろしいでしょうか。
徳差専門課長	<p>お答えしますが、五日市街道ということで、ちょうど道路交通センサスのポイントになっている、観測点になっているところがございまして、その27センサスの交通量でいきますと、今のところ24時間で1万3,600台という状況になってございます。</p> <p>もう一点は、3・4・11ができたときには、その交通量という御質問でしたね。</p>
参加者E	<p>そうです。だからその前に現在の連雀通りの交通量。何で五日市街道のことを言っているかという、あそこの渋滞が問題になっている。その根拠となる数字を知りたいわけですね。数字がなくて言葉だけで都市計画と言われても。ですから、これをやった場合にどのぐらい変化するか。</p>

発言者	発言内容
梅津課長	<p>今、センサスという国と東京都が調査している数字をここ（補助説明スライドP45）に載せていますが、東大通りのこの部分の交通量という御質問ですけれども、今この調査自体の交通量がまだ実施していない。まだ幹線道路ではないからです。今回のこの検討において、今後調査をさせていただきたいと考えております。</p> <p>そして、最後質問がございました、将来ここが通ったときの交通量ということでございますけれども、本路線は2車線の南北道路ということで並行する天文台通りと小金井街道、そこが同じ2車線道路ということなので、同程度の1万2,000台程度の交通量ができるときに発生する交通量と考えております。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>それでは、次にまいりたいと思います。</p> <p>真ん中、水色でマスクをかけている男性の方、お願いします。</p>
参加者F	<p>私は環境のことを本当は聞きたいのですけれども、そこにまだ入れませんよね。今のよう状況ですと。</p> <p>そこで2、3、今日のために調べました。会場にお集まりの皆さんにぜひ聞いてほしいと思いましたので。</p> <p>小金井市でこの10年間に自動車保有量がどう変化したか。13%減っております。区部を含めて東京都全体でこの10年間で11%減っております。交通量を規定するのは人口と自動車保有量ですけれども、人口も市部では32年にピークに達し、それから減る。区部も含めても37年以降は減る。少なくともこの道路は無理やりおやりになっても30年ぐらい先でしょう。そのころには本当に車も少なくなっている。</p> <p>具体的に見てみましょう。今までいろいろあそこで書かれているような数値と、既に交通センサスで出されているデータを比較してみますと、わかっているところ、小金井街道は1万3,000台通るということになっています。実はここは平成27年度のセンサスで7,300台、これが1万3,000台になると見積もられています。新小金井街道は27年に1万900台、これが1万4,000台になる。それぞれ76%増、28%増になっているわけです。実際は人口も減る傾向、それから、自動車保有量は現に既にどんどん減っているわけです。そういう中で76%増加の交通量を前提とした道路の必要性、28%の増を見込んだ道路の必要性を展開されている。こういうことではないのですかね。</p> <p>参加者の皆さんにもぜひお考えいただきたいのですけれども、私たちは本当に必要だったら反対しませんよ。ここにお集まりの皆さんは肌で、皆さんの御説明に矛盾が多い、無理が多い、防災性なんて後づけでしょう。そういうことで異論を述べられているのです。真摯に受けとめて必要性の論理をかちっと示さないと、そもそも示せないから、今まで一切、説明されていないわけです。そういうことですから、まずそこから始めていただきたいということをお願いいたします。</p>
深津課長代理	<p>私は事務所の設計の担当なのですが、私から交通量の先ほどの補足みたいな形</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>になるのですが、今おっしゃっていただいた小金井街道7, 000台ぐらいという話があったのですが、私どものほうでも数字が小さくて申しわけないのですが、こちら（補助説明スライドP45）に書いてあるのも27年度のセンサスの数字を書かせてもらっております。</p> <p>小金井街道の7, 000台ぐらいというのは12時間の交通量を今、センサスのほうではかっていて、朝の7時から夜の19時までという12時間の数で7, 000台とか、ほかのところでは9, 000台ぐらい。それに昼間と夜の昼夜率と呼んでいるのですが、そういうものが1.3倍ぐらいありますので、そうすると日交通量は1万2, 000～3, 000台というのが現状という形で、我々のほうでは理解されているところでございます。</p> <p>予測についてなのですが、先ほど課長から近隣の天文台通り、小金井街道といったところから1万2, 000～3, 000台ぐらいというのが予測される交通量という話をさせていただいたのですが、実際に今こちらのほう、東大通り自体がセンサスの調査地点に入っていないので、そちらについては実測の数字がないという状況には今なっているという形になっております。</p> <p>確かに人口減少等がございまして、それだけが要因ではないと思うのですが、将来の交通量はもしかしたら減少傾向になってくるかもしれない。車の保有台数もそうなのですが、実際はGNPとかGDPといったところも踏まえながら、将来の交通量というのは推計されるかと思うのですが、それにしても人口減少が支配的になるだろうというふうには、当然のことで、そうなりますと交通量は全体的には減ってくるだろうなというところは、それは事実だと思うのです。</p> <p>ただ、そうは言ってもやはり都市計画道路というのは、都市を形成する最も基本的なインフラと考えてございまして、自動車交通の円滑化、防災性の向上もさることながら、そういったものも含めた重要な都市基盤施設であることは変わりはないわけです。</p> <p>将来にわたっても東京の持続的な発展を実現していくためには、広域的な交流だとか連携、防災性を図るだとか、地域の活性化だとか、そういったところを支えるインフラとして非常に重要な都市基盤ですし、そういう意味では道路ネットワークの形成のさらなる充実は、不可欠と考えております。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>それでは、次にまいります。こちらの列、後方の女性の方、お願いをいたします。</p>
参加者G	<p>先ほど小金井は細い道が多いとおっしゃいましたけれども、あちこちにあるので、3・4・11号線だけでは解決しないと思うのです。</p> <p>質問です。そもそも幾らぐらいかかるのか。用地買収や道路建設もろもろ全部含めて、事業化にあたって予算を立てていらっしゃると思うので、それをお聞きしたいのですが、かなりの額だと思うのですが、もしそれがあれば防災上、例えばこういう体育館だとか水道管、耐震性はあるのでしょうか。地震のときに水道管が破裂してしま</p>

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>ったらライフラインが大変ですよ。東京都はどうなっているのでしょうか。そういうものに使っていくべき、それから、そうでなくても本当に保育所だとかいろいろ、もっと住みやすいものに使っていくべきだと思うのですが、その辺は幾らかかるのか。そもそも知りたいと思います。</p> <p>通常、事業費といいますと、事業化前に都市計画事業認可という手続、まさに事業化になるのですが、その時点で事前に面積だとか用地買収を要するお宅等々を精査します。そこできちんと出した上で事業費を出していきますので、現在、小金井3・4・11号線に関する事業費というものは、整備のための事業費は算出しておりません。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>それでは、次にまいります。どなたかいらっしゃいませんか。それでは、左前の女性の方、お願いいたします。</p>
参加者H	<p>私は質問ではなくて意見ですから時間をとらないと思います。</p> <p>私は東町4丁目に住んでおります(参加者)と申します。</p> <p>私は1900年に東町に土地を買って住んでいます。そのとき私は00歳でした。まだ東小金井の駅もないときでして、今、私の家は都市計画道路に直接かかってはいないけれども、すぐ近くに16メートル幅の都市計画道路が予定されております。もしこれをつくったら、この地域の環境は一変してしまいます。でも、この計画が決まったのは私が来てからずっと後のはずですから、当時は計画を決めるための説明会なんて全然なかったのです。地権者も全く知らないうちに決まりました。ですから先ほどこれは旧法でやっているわけで、この旧法はそれでもよかったのだらうと思います。けれども、その旧法をそのまま今の法律につなげてつくっているところに問題があるのだと思うのです。</p> <p>今、私は00歳を過ぎました。よく50年前に決めた計画を今ごろ持ち出してくるって皆さんが怒っていますけれども、それは00代の人が00歳になるまで、この間にうんとすんとも何とも言わないで、急にここで道路をつくるということになったのです。ですからよろしくというふうにおっしゃっていただいても、私たちは何とも言うことができません。人によっては家を建てたいけれども、実施計画はあるのでしょうかと聞いたら、まあお孫さんの代まで無理ではないですかと言われた。それなら家をとって建てたら、今度はこんなことを急に言われたと言って怒っている方もいらっしゃいます。</p> <p>50年間というのは、この地域の住民の生活設計にとって本当に大切なときだということ。一人一人の人生計画を勝手に踏みにじることになる。そういうことを東京都は本当にわかっていらっしゃるのでしょうか。今も小金井にはたくさんの都市計画道路があります。それを生かしても殺してもせず放置しておいて、自分たちの都合で急に「はい、やります。変えるつもりはありません」なんて、そんな勝手なことどうしても許されない。このことを私は、あともう短い人生ですが、どうしても今日は言いたくてここへ伺いました。</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>御意見として承りましたけれども、新法と旧法の関係について少し御説明させていただければと思います。</p> <p>まずこの3・4・11号線は、確かにおっしゃるとおり旧法時代、昭和37年に決定しております。これらの決定にあたりましては、当時の法に基づきまして、当時の法というのは旧都市計画法に基づきまして、地元の状況を把握している都議、関係市町、市議などが参加する都市計画地方審議会の議を経るなどしまして、地元の意向を反映して適切に定めてございます。</p> <p>なお、都市計画法の旧法から新法への移行に際してなのですけれども、これは都市計画法施行法第2条で「新法の施行の際現に旧都市計画法の規定により決定されている都市計画区域及び都市計画は、それぞれ新法の規定による都市計画区域又は新法の規定による相当の都市計画とみなす」と規定されておるわけですが、当該3・4・11号線外の決定については、新法に基づく都市計画法施行法第2条によりまして、新法の規定に基づく都市計画という形になっております。平たく言うと、新法でも旧法を引き継ぐという形になってございます。</p> <p>50年以上前の都市計画で今になってという話なのですけれども、東京都としまして、一昨年の事業化計画も含めまして過去4度の事業計画を策定しまして、その都度、未着手の路線については必要性の検証をした上で、順次、整備を進めてきてございます。非常に時間がかかっているということは事実でございます、大変御迷惑をおかけしてございますけれども、今回、優先整備路線ということで事業計画の中で位置づけてございますので、今後10年で進めさせていければなというところでございます。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>間もなく終了予定の時刻となりますが、残り3名の方、御発言をいただきまして最後とさせていただきます。</p> <p>まず一番こちら側の列、最初、マスクをされている男性の方が1番目。それから、真ん中の列、後方マスクの男性の方でしょうか。それから、一番奥の列、グレーのセーターを着ている男性の方、以上、3名の方で最後とさせていただきます。申しわけございません。お時間の関係がでございます。御容赦お願いいたします。</p> <p>初めに、こちらの列の方からお願いいたします。</p>
参加者 I	<p>私は東町の(参加者)といいます。もろに都市計画の中に入っているのですけれども、今日課長さんが言われたこと、法律に関する部分のお話は全部でたらめです。本当に調べたのですか。私は信じられませんよ。この間、開示請求を出したらつくっていないとおっしゃったのではないですか。この間、都のほうに出したのです。11月に。そういう資料もないのに何でやったと言えるのですか。これは先ほどの方、向こうのほうの方が言われたように、ちゃんと証拠を持ってきてください。証拠がないのです。あなた方は本当に法律に従ってやっているのですか。これは全部の都の道に言えますよ。そんなことを言ったら。おかしいんじゃない。調べてください。 以上です。</p>
大坪統括課長代理	<p>以上、1点でございますか。</p>

発言者	発言内容
(司会)	
徳差専門課長	<p>承知いたしました。当時の法律に基づいて、再三、言っているのですけれども、適切に、適正に処理されていると私どもでは考えてございます。</p>
参加者	<p>証拠を出してくれるのですね。</p>
徳差専門課長	<p>それについては先ほどの御質問等もお受けしていますけれども、可能な範囲でお調べしまして、お出しできるところについてはお出ししたいと考えております。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>それでは、2人目の方、まいりたいと思います。真ん中の列、後方の方、お願いをいたします。</p>
参加者 J	<p>中町の（参加者）です。</p> <p>私は2年前ぐらいにここに引っ越してきました、引っ越してきた何よりの理由は、すごい自然が豊かなところだということでここに来ました。</p> <p>まずお聞きしたいのは、どちらを向いて仕事をしているのかという話です。だって、あなたたちのお客さんとか話を聞かなければいけないのは誰なんですかという話だと思うのです。そういうところで考えると、今までの会話は全く会話が成立していないし、それを聞こうという耳を余り持っていないというところがまず大きな間違いだと思います。</p> <p>もう一つは、だったらパブリックコメントとかとらなければいいではないですか。そもそも。そういう声を聞かないのにとって形だけ進めていってやるというのは、かなり大きな間違いだと思っています。</p> <p>さらに、今回この会に対して、この結果というのはどのように報告されるのですか。だってこれ、私たちの中にはアンケートも何もないし、参加されている皆さんがどういうことを考えたかというのも全く形として残らない状況で今、帰ろうとされている気がするのです。それ自体をしっかりと数字なりデータなりで、先ほどから皆さん散々おっしゃっていますけれども、すごく曖昧な話の中で何となく進めていこうというのは明らかに間違っていると思います。</p> <p>だからそういう意味では今回のみんな参加しているものに対して、どういうふうにちゃんとそれを持ち帰って、数字として本当に皆さんがわかったのかとか、どういう意見があったのか、どのように拾って帰るのかというのはすごい疑問に感じていて、それは今回どうするつもりなのですか。これで帰ってまたさっきみたいな1行、2行で意見交換会をしました、それで終わってしまうのではないですか。だったら何%の人にちゃんと納得していただきましたとか、何%の人が納得していなかったというのをしっかりとデータで出す必要があると思うのです。それは普通の会社だったら普通です。言わせてもらおうと。</p> <p>あともう一つ言いたいのは、先ほどから問題点、問題点と言っていますけれども、そ</p>

発言者	発言内容
	<p>れって本当に私たちの問題点なのですか。そこを議論しないで誰にも問題点というか、自分たちで問題点だと思っていることに対して、そちらの解決策を出されても全然意味がないと思うのです。それはちゃんと私たち住んでいる方々の問題点が何かとわかった上で、それに対するちゃんとした解決策という形でないと絶対にみんな納得しないと思うのです。</p> <p>先ほどから質問を遮ったりとか、質問をちゃんと聞かないで何となく次の答えに行ってしまうというのは絶対にやってはいけません。そうしたらコミュニケーションの幅が広がるだけだと思います。だからもう一回これ自体で終わりました、これで進めさせていただきますなんてことは絶対に言わないでほしいですね。この状況で、私は。それはわからないですけども、それを言わせてもらいたくて、だから質問が長くなりましたが、これをちゃんと数字化して、今回の結果に対して私たちにどうやってフィードバックしていただくのかというのを教えていただきたいと思います。</p>
徳差専門課長	<p>御意見として承りますけれども、いろいろとこの道路のつくり方に対しては、この道路については賛成の方もいるだろうし、反対の方もいるだろうと思うのですが、そういった状況の中でも我々行政としましては、これは行政計画として第4次事業化計画の中で優先整備路線として選定しているわけなのですから、将来に向けて道路というのは必要だと考えていますし、特に3・4・11については府中市、小金井市区域を結ぶ南北の広域的な道路ネットワーク形成には不可欠と考えております。</p> <p>また、繰り返しになりますけれども、加えまして周辺地域の安全性だとか、あるいは防災性の向上などを図るためには必要な路線と考えていますので、東京都としてはこれは必要な路線であると考えてございますし、今日出されたいろいろな御意見というのは、今日説明会という形で開催させていただいておるわけなのですが、説明会の内容の報告はホームページ等でさせていただきたいと考えております。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>それでは、最後の方の御発言をお願いいたします。</p>
参加者K	<p>私は東町の(参加者)といいます。</p> <p>本日、最後らしいのでまとめの質問というふうにはなかなかできないのですが、道路のネットワークというのは何のためにやるか御存じですよね。ネットワークをつくるために道路をつくるのではないでしょう。道路というのはここからここへ行きたい、あるいは物を運びたい。そういうニーズがあって道路をつくってネットワークになっていくわけです。だからネットワークというのが先に来たらだめですよ。あなたの議論はいつもそう。よく勉強してください。</p> <p>それで、この交通ネットワークの交通の容量というのは、どこかがボトルネックになって最大容量が決まるのです。小金井近辺に混雑道路というのはないのです。どこでも、生活実感としてあそこは混むねというのはありますでしょう。それは全て交差点</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>なのです。交差点がボトルネックなのです。ですから皆さんがおつくりになっているのは何でしたっけ。交差点すいすい事業でしたっけ。交差点を特別に通りやすく改良していこう。これは正しい方向だと思います。道路そのものが容量が足りなくていっぱいいっぱいですよという道路はありません。よく調べてみてください。そのところあなたは間違っている。</p> <p>先ほどまだ予算もわかっていないとおっしゃるのですが、交差点の改良にお金をお使いになったほうがよほどいい。それから、小さな狭い生活道路に入ってくる車が来るといところも、そこにお金をかけて少しずつ空き地をつくっていくとか、20～30年の時間をかければ少しずつできるでしょう。ほかのやり方があるはずなのです。とにかく、あなた方は東京都全体でネットワークでは何とかであってとおっしゃるだけで、地域地域、小金井なら小金井の地域がどうだから、そこにこういう道路が必要だという地域に対する考え方が全くないですね。北南建の方々はこの地域に割と近いのでしょうか。歩き回っておられるのですけれども、あなた方は計画をどうするかということには発言権がないのです。整備局しか持っていないのです。だからわかっている人たちの発言権がないということが大問題だと思うのです。</p> <p>もう一つ、最後ですから時間をください。小池知事が小金井は丁寧にやってくれと言われたということで意見交換会とか、こういう事前の説明会のようなものを開催されているのだと思うのです。小池知事は、丁寧にやれということは環境と景観だけについて丁寧にやれとおっしゃったのですか。丁寧というのはどういう意味かお聞きになりましたか。私はそれを付度して、勝手に景観と環境だけというふうにしているのは、あなた方の付度の話で、違うと思いますよ。よく聞いてみてください。知事がどういう思いで丁寧にやれとおっしゃったのか。そうでないとおかしいでしょう。ほかの地域は丁寧ではないと仮にしますよ。そうするとほかの地域では環境、景観は考えないということですか。小金井だけ環境、景観を考えて丁寧にやります。おかしいでしょう。</p> <p>いろいろ言いたいことはあるのですけれども、時間ですのでこのぐらいにしておきたいと思います。</p> <p>先に前段のお話、交差点すいすい事業の工事の話をしていましたが、基本的には交差点改良は、渋滞緩和のための局所的な改善の事業と捉えておきまして、抜本的には都市計画道路のネットワーク形成が必要だと私どもは考えております。</p> <p>特に多摩地域も含めまして、区部も含めまして、現在の東京の全体の状況を踏まえますと、いわゆる混雑時の平均旅行速度というのがございまして、これが非常に低い状況である。都内全体で約20キロなのです。正確には19.9キロなのですけれども、これは全国はどうかといいますと、平均旅行速度というのは自動車の走行速度なのですが、これが35.1キロなのです。それに比べると東京は非常に遅い。それで慢性的な渋滞をもたらしているということで、いろいろな弊害があるわけなのです。平均旅行速度から見ますとそういう状況が言えるということでございます。</p> <p>したがって、そういった状況を解消していくためには都市計画道路ネットワークの形成を充実していきまして、適切に交通を分散させることによって旅行速度も減らす</p>



発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>といったことを考えて、東京都は都市計画道路の整備を進めているわけでございます。</p> <p>2点目の知事の発言でございますけれども、これは議会でも答弁しております、今、読ませていただきますけれども、知らない方もいると思いますので、「小金井市の2路線は、広域避難場所へのアクセス向上や生活道路への通過交通抑制によります地域の安全性向上などに資する重要な路線と考えております。あわせて、環境に配慮することも重要でございます。現地の地形の状況や景観を踏まえた検討が必要と考えております。」</p> <p>続きがございます。「この道路整備に当たりましては、さまざまな意見があることは承知をいたしております。今後、道路の果たす役割や機能、そして環境にどう配慮するかについては、市民との意見交換の場を設けて、一つ一つ丁寧に対応を行うように指示したところでございます」という答弁をしております。</p> <p>したがいまして、私どもは知事の指示に基づいて、環境や景観についてこの道路をどのように配慮していくかということを皆様と意見交換をさせていただきたく、今日の説明会も行ってきているという状況でございます。</p> <p>一部補足で、地域に対する考えがないという（参加者）さんの御意見でしたけれども、生活道路の通過車両の進入という今、スライド（説明スライドP8）でも再度掲げておりますが、こういった状況はもう既に御説明させていただきましたので、お手元の資料などもご覧いただきたいと思うのですけれども、特に二枚橋の坂にお住まいの方からも同様な御意見をいただいたり、せんだっては別の方からも御意見をいただいて、非常に危険だということをお伺いしております。そういったことも捉まえて私どもは地域に対する考え方も踏まえながら、こういった現状と課題という資料をまとめさせていただいております。</p>
大坪統括課長代理 (司会)	<p>予定の時間を大分超過してしまいました。大変申し訳ございませんでした。</p> <p>これもちまして本日の説明会を終了させていただきたいと思っております。本日は長い時間、どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">＜ 15 : 45 閉会 ＞</p>